

自己評価

支援センター部 教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人への理解を深め、将来を見据えたより個に応じた指導・支援が実践できるよう継続的な校内相談活動の充実を図る。</li> <li>コミュニティ・スクール制度の導入に伴い、岐阜圏域の高等学校への訪問や相談を通して、障がいの状態や教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供と個に応じた特別支援教育を推進する。</li> </ul>
-----------------	--

評価する領域・分野	家庭との連携、その他、学校独自の項目
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価アンケートの結果では、「個別の教育支援計画を保護者や関係機関と連携して作成し、将来を見通した支援をしている」「保護者や関係諸機関の意見が個別の教育支援計画に反映されている」「学校は、特別支援教育のセンターとして機能している」のいずれにおいても「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせ、6割～7割以上の評価を得た。</li> </ul>
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人への理解を深め、将来を見据えたより個に応じた指導・支援が実践できるよう継続的な校内相談活動の充実を図る。</li> <li>コミュニティ・スクール制度の導入に伴い、岐阜圏域の高等学校への訪問や相談を通して、障がいの状態や教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供と個に応じた特別支援教育を推進する。</li> </ul>
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の教育支援計画の点検・助言を部内皆で分担、実施</li> <li>支援センター部内において高等学校担当を組織</li> </ul>
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内支援（個別の教育支援計画、校内支援、ケース会議、保護者支援）</li> <li>訪問相談支援 ・研修支援（夏季研修、高等学校コーディネーター研修）</li> </ul>
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>作成時の助言や情報共有会議後の状況</li> <li>訪問相談支援の状況</li> </ul>
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援センター部内において担当を割り振り、適宜助言や点検を行った。</li> <li>夏季休業中に情報共有会議を行った。</li> <li>高等学校特別支援教育コーディネーター研修会を実施した。</li> <li>高等学校への訪問相談支援を実施した。</li> </ul>

評価の視点	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>情報共有会議において、支援の共有を図れたか。</li> <li>高等学校特別支援教育コーディネーター研修会において、当校への理解啓発を行い、今後につながる研修を実施できたか。</li> <li>高等学校への訪問相談支援が継続的に実施できたか。</li> </ul>	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A B (C) D</p>
成果・課題	総合評価
<p>○高等学校特別支援教育コーディネーター研修会では、授業参観や発達障がいに関する研修を通して、当校や障がいへの理解を促すことができた。</p> <p>○高等学校への訪問相談支援は要請に応じ、実施することができた。</p> <p>▲校内における支援の共有をさらに深めていきたい。</p>	A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校との連携を図る。</li> <li>高等学校への訪問相談支援を継続的に行う。</li> <li>校内支援体制を確立する。</li> </ul>

学校関係者評価 (令和2年2月27日実施)

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜圏域の特別支援教育を推進する立場として、センターとしての取組を継続するとよい。</li> <li>よりよい支援に向けて、校内における支援の共有を深めていけるとよい。</li> </ul>
-----------	--